

# 町長選挙

# 松元たけし <sup>1783票</sup> 善戦・大健闘

「この町を変えたい！」の願いに応え  
**公平・公正な町政めざし、がんばります**

「公平・公正な町をつくる会」と日本共産党は、30日投開票の甲良町選挙の結果について次のように発表しましたので、紹介します。

一、30日投開票の甲良町長選挙で、日本共産党が推薦し、「公平・公正な町をつくる会」代表の松元たけしが、1783票(得票率44.57%)を獲得。あと434票差まで迫ることができましたが、みなさんの期待に応えられず残念です。松元たけしにご支持、ご支援くださった町民のみなさんに心から感謝申し上げます。

二、敗れたとはいえ、表明からわずか一週間・全くの新人で44%の得票率を獲得したことは、運動団体の一部幹部の利権あさりなどの横暴がはびこる町政を大掃除して、公平・公正な町をつくってほしいとの町民の願いが、いかに切実かを示しています。同時に、「子育て世代のことを考えてもらえる町長さんを」「町長給与の3割カットは良い」など、松元たけしが掲げた公約を支持された町民のみなさんが少なくありませんでした。

三、相手陣営は「町長に再就職するため甲良町に来た」「共産党が甲良町をかきまわしてきた」などと、個人攻撃とでたらめな宣伝をおこないました。

日本共産党と「公平・公正な町をつくる会」は、町長選挙が、政党を選ぶのではなく、町民全体の利益を代表する人を選ぶものであり、松元たけしが無所属で立候補しているのは、政党の代表ではなく、立場をこえた幅広い町民のみなさんの代表だからであることを徹底して訴えるとともに、事実を示して反撃しました。

町民のなかからも「もう『同和』の名でおさえつけるのはやめてくれ。この際、スツペリきれいにしてくれ」「かえって他所から来た人のほうが、しがらみがなくてちゃんと町をまとめてくれると思う」などという声が少なからずありました。「立場の違いをこえて町政の大掃除を『会』代表にまかせよう」という共感が広がりました。

四、「公平・公正な町をつくる会」の代表・松元たけしと日本共産党は、この選挙結果に示された町民の切実な願いに応え、公平・公正な町めざして、みなさまと力をあわせ全力でがんばります。

今後とも、ご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 開票結果 (有効投票数 4000)

松元たけし氏

1783票 (44.57%)

1015票 (1997年西沢)

山崎義勝氏

2217票 (55.43%)

3125票 (2001年山本)

- ・有権者数 6547人
- ・投票総数 4199票 (投票率 64.14%)
- ・内有効投票 4000票 (無効投票 199票)



## 甲良民報

2005年11月号外

発行責任者：日本共産党甲良町支部

代表：西澤伸明 甲良町在土 463

Tel.Fax38-4949

Eメール info@jcp-nobuaki.com

のぶあきホームページ

http://www.jcp-nobuaki.com/